

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2025年12月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 102



SPECIAL

脳卒中治療の最前線



脳・脊髄・神経センター

副センター長

盛岡 潤 医師

11月1日、城山健康フェスタがLICはびきのにて開催されました。サムテックホールMでは「1分1秒がカギ！脳卒中治療の最前線」と題して盛岡医師が動画を交えて講演されました。

脳卒中とは脳の血管が詰まる脳梗塞と、脳動脈瘤が破裂するくも膜下出血が含まれ、非常に危険な疾患です。今回は講演の内容をお伝えします。

脳梗塞の治療

脳梗塞には脳血管自体の動脈硬化による脳血栓症と、他部位にできた血栓がとんできてつまってしまう脳塞栓症があります。後者の原因の多くは心房細動という不整脈で、これはこれまで心疾患がない方であっても年齢とともに気付かないうちになりうる病気です。

脳動脈が閉塞しても完全に脳梗塞が完成してしまう前に治療できれば被害を最小限に食い止めることができます。

発症から4,5時間以内であれば血栓を溶かす薬を点滴し、また24時間以内であればカテーテルによる血栓回収術を行います。治療が早ければ早いほど症状の改善が期待できます。

脳動脈瘤の治療

治療には開頭手術(クリップ)と血管内治療(カテーテル治療)があります。今回はカテーテル治療について詳しくお話します。

(1)コイル塞栓術

カテーテルを使って血管内から動脈瘤内部をコイルと呼ばれる糸状の金属で詰める方法です。1997年に本邦で保険認可され、血管内治療の代名詞的な治療ではありますが、すべての動脈瘤に対応できるわけではなく、根元が広い瘤(広頸瘤)や血管が全周に渡って拡張するミノムシのような瘤(紡錘状瘤)には

困難です。金属製の筒(ステント)を血管においてしまいこれを土台にしてコイルを詰める方法もありますが、それでも限界があります。

(2)フローダイバーター

フローダイバーターとは前述のコイル土台用ステントよりも目が細かくメッシュ状になったステントの一種です。広頸瘤、紡錘状瘤に対して考案された道具で日本では2015年から使えるようになりました。瘤内部ではなく瘤の根元の動脈内でこれをひろげて置いてくるだけの治療です。

瘤に出入りする血液の速度や量が減っていき、ひいては瘤内部が血栓でかたまり、破裂しなくなります。

(3)WEB(Woven EndoBridge)

フローダイバーターでは治療が難しい血管分岐部の広頸瘤に対応するため、2020年12月から日本に導入された道具です。どんぐりのような形で表面が細かい網目の金属でできており、中空で、細いカテーテルのなかに収納することができます。

瘤のサイズに応じたものを選択し瘤の中にカテーテルを誘導してWEBを展開します。コイル塞栓術に比較し極めて短時間で手術が終了します。

当院の現状

城山病院ではこれらの最新治療を含め、多くの血管内治療を手掛けております。また従来、脳血管内治療は股の血管を介して行うのが主流でしたが、最近では心臓カテーテル治療にならって手首の橈骨動脈から行うことが増えてきました。

当院でも患者様の負担を軽減すべく可能な限り手首からの治療を行うようにしております。

城山健康フェスタを開催しました

去る2025年11月1日(土)、LICはびきのにて「城山健康フェスタ」を開催いたしました。『その時、あなたや家族を守るために～脳卒中を知り、備える～』をテーマとした当イベントに、多くの方にご来場いただきました。

盛岡潤医師による講演「脳卒中治療の最前線」や脳卒中認定看護師監修の寸劇などが行われた医療セミナーには約100名が参加。また、医療体験やちびっ子職業体験、介護相談、キッチンカーや野菜マルシェなどその他のイベントにも合計300名が訪れ、総勢400名を超える方々で会場は終始にぎわいを見せました。

ご来場、誠にありがとうございました。



【医療者向け】 FESS,UBE専門外来開始のお知らせ

平素より脊椎疾患の患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。

この度2026年1月5日より月曜日と水曜日にFESS,UBE専門外来を開設いたしますのでお知らせいたします。

FESSは全内視鏡下脊椎手術(Full Endoscopic Spine Surgery)という8mmの切開で内視鏡下に行う脊椎手術です。これまではMEDという約2cmの切開で内視鏡手術が主流でしたが、現在は8mmの切開で行うFESSが全国的に主流となっております。UBEは2ポータルで行う内視鏡手術でここ数年で急速に広がっている手術です。

FESS,UBE専門外来の担当である坪井医師は年間300件以上のFESS,UBEを行っております。関西での手術件数トップを5年以上維持しており、2025年の1年間で全国(愛媛県や鳥取県など)から14人のドクターが手術を受けに来られてことも信頼されている証と考えます。これまで坪井医師は脊椎疾患以外のリウマチの診療や骨粗鬆症の治療も行っておりましたが、FESS,UBE専門外来とすることで手術希望の患者さんや術後フォローの患者さんの予約を取りやすくしました。

頸椎、腰椎疾患の患者さんで内視鏡手術を希望される患者さんがおられましたら月曜日か水曜日に受診指示をいただけますと外来受診は長時間の待ち時間はなく、手術も2週以内に行うことができるようになりました。事前の予約はなくても紹介状持参されていれば対応いたします。

術後の状態が安定しましたら基本的には紹介していただいた病院や診療所に逆紹介をさせていただきますが、脊椎疾患に対応できない診療所などでは引き続き当院にて責任をもって診させていただきます。

月曜日および水曜日の午前中をFESS,UBE専門外来として開設します。脊椎内視鏡手術をご希望の患者さんがおられましたらご紹介よろしくお願い申し上げます。

BLS研修に取り組みました

城山病院で、BLS全職員研修を行いました。

BLSとは、心臓マッサージなどの一次救命処置のことを指します。心臓や呼吸が停止した人に対して、救急隊や医師が到着するまでの間に、一般の人でも行える応急手当です。

倒れている人を見つけ声を掛けるところから正しい胸骨圧迫・AEDの使い方を学びました。

院内外を問わず迅速に対応できるように、これからも職員の技術向上に努めていきます。



城山病院 年末年始のご案内

～救急受診は事前にお電話を～

年末年始の診察については、下記の通りになります。急患の方は平常通り救急救命センターにて診察に応じています。診察を希望される方は、事前に電話でお問い合わせの上、ご来院ください。

日付	診察
12月29日(月)	通常診察
12月30日(火)	休診
12月31日(水)	休診
1月1日(木)	休診
1月2日(金)	休診
1月3日(土)	休診
1月4日(日)	休診
1月5日(月)	通常診察

